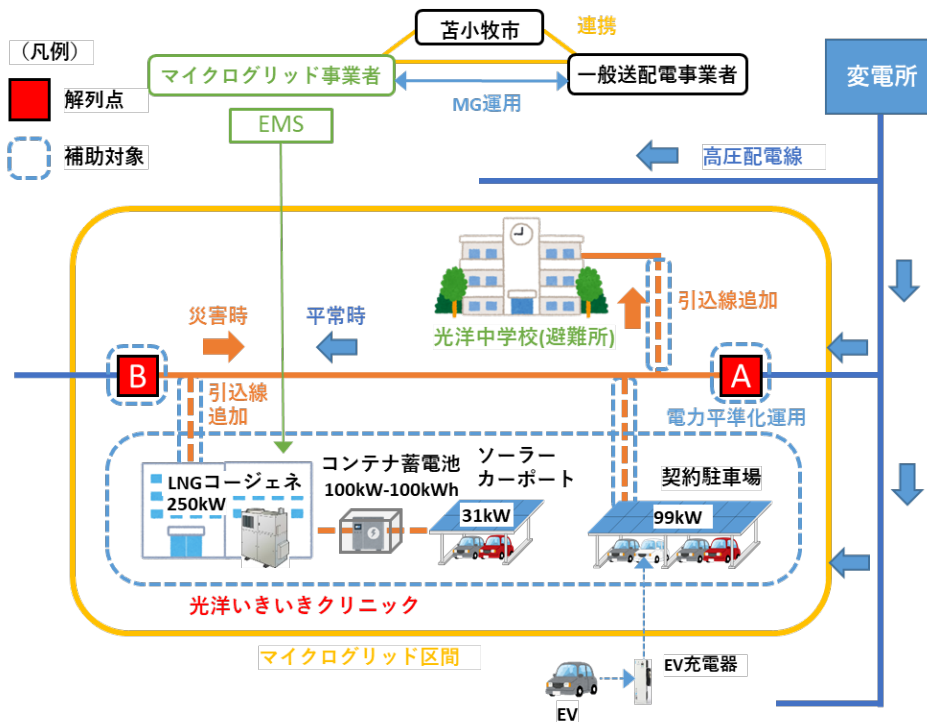


2021年12月14日  
株式会社セカンドフェイズ

令和3年度 地域共生型再生可能エネルギー等普及促進事業への参画について  
～経済産業省 資源エネルギー庁 地域マイクログリッド構築支援事業のうち、導入プラン作成事業～

株式会社セカンドフェイズ（本社：東京都千代田区 代表取締役 穴戸 祐真）は、医療法人社団生き生き会（北海道苫小牧市）を代表申請者とする、「医療法人社団生き生き会」による、光洋いきいきクリニックと苫小牧市光洋中学校の災害時電力レジリエンスを面的に強化する、「地域共生型マイクログリッド構築プロジェクト」の導入プラン作成事業（以下、本マイクログリッド構築プロジェクト）について、一般社団法人環境共創イニシアチブ（SII）より、令和3年度 地域共生型再生可能エネルギー等普及促進事業費補助金（地域マイクログリッド構築支援事業のうち、導入プラン作成事業）の採択を受け、地域マイクログリッド構築事業の検討を進めてまいります。

苫小牧市光洋町地域マイクログリッド構想範囲



本地域マイクログリッド構築プロジェクトは、北海道苫小牧市光洋町エリアで、再生可能エネルギーであるオンサイト PPA による太陽光発電設備を地域のクリニックである光洋いきいきクリニックと苫小牧市の指定避難所である光洋中学校を地域共生型マイクログリッドにより、非常時における電力供給を目的としております。

## ■実施体制

【申請者 代表企業】 医療法人社団生き生き会

【コンソーシアム】 株式会社正興電機製作所、株式会社セカンドフェイズ、  
中電技術コンサルタント株式会社、株式会社レーベンクリーンエナジー

## 【第3者検討委員会】

委員長：国立大学法人茨城大学 名誉教授 奈良 宏一

副委員長：

国立大学法人東京大学 先端科学技術研究センター 研究顧問 元環境省事務次官 小林 光

国立大学法人琉球大学 工学部 教授 浦崎 直光

委員 一般送配電事業者

委員 苫小牧市

## ■会社概要：株式会社セカンドフェイズ(<https://second-phase.net/>)

カーボンニュートラルの時代へ向けて、スマートハウス、スマート集合住宅、スマートタウンを想定したエネルギーマネジメントゲートウェイと IoT プラットフォームを基点に事業企画開発に取り組んでいます。エネルギーマネジメントゲートウェイと IoT プラットフォームは、弊社のノウハウを含めて当該企業との連携で現在は、蓄電池等の分散型エネルギーリソースを活用した次世代技術構築実証事業をはじめエネルギーの地産地消モデル検証に取り組んでいます。

### 【本プロジェクト及びプレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社セカンドフェイズ 事業企画 担当：奥瀬 俊哉 okuse@second-phase.net